

17. 副腎腫瘍

○: 専門とするがん △: グループ指定により対応しているがん ×: 診療を実施していないがん
 ※別紙4に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○: あり △: グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×: なし ○

No.	当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況(○: 実施可/×: 実施不可) / 昨年の実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日			各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ				
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	放射線療法 体外照射		ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください		掲載されている内容		
								治療内容	治療実績	医師の専門分野		
1	腎泌尿器外科	15	11	状況 ○ 実績 あり	○	○	良性腫瘍には単孔手術で、より低侵襲にしています。悪性腫瘍に対しては、手術・放射線・抗がん剤の集学的治療を行なっています。	ア http://www7.kmu.ac.jp/urology/characteristic.php イ http://	掲載あり	掲載あり	掲載あり	
2	放射線治療科	2	0	状況 × 実績 なし	×	○	リニアック、新型コバルトによる高線量率小線源治療装置および小線源放射線治療計画専用CTを保有し高精度の放射線治療を実現しています。	ア http://www.kmu.ac.jp/hirakata/medical/shinryoukamoku/1-shinryoukamoku25.html イ http://	掲載なし	掲載なし	掲載あり	
3				状況 実績				ア http:// イ http://				
4				状況 実績				ア http:// イ http://				
5				状況 実績				ア http:// イ http://				

グループ指定を受ける施設との連携状況
 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること

昨年の治療実績ありの疾患名
 ※平成25年1月1日~12月31日
 例: 褐色細胞腫、副腎皮質がん
 褐色細胞腫、副腎皮質がん